

花を愛し、花の輪を広げよう。

花新聞

HANA
SHINBUN

第23号

北九州市建設局
公園緑地部緑政課花とみどり係
〒803-8601 ①徳田区柳井1-1 09338212466



花新聞キャラクター
ピッピちゃん



露出した石灰岩が羊の群れのように見えることから
「羊群原」と呼ばれています。

群生するススキと「羊群原」は秋の平尾台を表す風景です。

インフォメーション



自然の宝庫 平尾台

平尾台は約3億年前に海底の珊瑚礁から形成された石灰岩地形が厚き上がり、長い年月を経て出来たカルスト地形です。南北約6キロ東西約2キロに広がる台地は、山口県の秋吉台と並ぶ瀬戸カルストの代表地で、天然記念物・国定公園・県立自然公園に指定されています。

野焼きによる草原性の植物や、石灰岩地域特有の植物(石灰岩植物)が育つ環境でもあり、珍しい植物が見られるのも特徴です。さらに石灰岩地域としては貴重な温泉も存在し、温泉性の植物も見られます。台地全体に草原が広がり、凹地形のドリーネや湧水点には森林も点在します。

「ススキ」は山野や土手、そして野原など広く普通に見られ、季節が秋になつたことを感じさせてくれる野草です。昔から、十五夜の月見に収穫物などとともに供えられ、豊年の豊作を祈願する際には欠かせません。実はこの「ススキ」馴染み深い名前の方が別名で、本名は「尾花(おぼな)」であることをご存知ですか。尾花という名の由来は、初めは黄色系だった花穂が、やがて白いフワフワとしたものに変つた時、それが動物の尾に似た花のように見えることから来ているそうです。

また「ススキ(尾花)」は秋の

風に乗ってフワフワと揺れる白い穂。日本の秋を代表する野草です。

「ススキ(尾花)」

七草としても挙げられており、春の七草は「食用」として、秋の七草は「観賞用」として多くの人に親しまれています。ちなみに秋の月見は「尾花(おぼな)でしこ」・葛・桔梗・麻酔(ふじばかま)・女郎花(おみなえし)です。

「花新聞からのお便り」

「ススキ」をはじめとする野草は自然豊かな土地にのみ育ち咲いて自生します。どうぞ花の美しさは損み取らずに目で感じて楽しんでください。

平尾台の野草をもっと知りたい!

学習・レジャーに活用できる2つの施設をご紹介します。

平尾台は「国立公園」なので、植物の採取は自然公園法によって禁止されています。どうかこのことをしっかり順守して自然と親んでください。



平尾台 自然の郷

平尾台自然の郷
北九州市西區平尾台3丁目1番1号
電話:452-2715

平尾台自然の郷はゆつたりと憩い、楽しみながら学び、自然とのふれあいを体験できる自然公園です。平尾台の気候にあつたり、べりーの岡成や採み取り体験育科、キャンプ場やレストランなどがあり、ものづくりをテーマにした体験工房は、すぐ体験できる教室(有償)のほか、パークサポーターによるログハウス等の建設も行っています。



平尾台自然観察センター
北九州市西區平尾台3丁目1番1号
電話:453-2727

平尾台自然観察センターは平尾台の原生や歴史、そして平尾台に生息するいろいろな動物や植物、自然と人々の深い関わりについて見て、聞いて、考えて学ぶ一施設です。イラストやハイビジョン映像、ジオラマ模型など、夜通しでも楽しめる、関するパソコン検索や本の閲覧なども充実しています。

野草勉強会は、園内の野草園や国立公園平尾台のフィールドにて、四季の野草を観察する勉強会です。テキストを渡って花の名前や分け方を事前に説明し、それからフィールドを散策しながら、参加者の野草を探しあてます。参加される方は1人1鉢おしべやめいへの標子を観察する時、思い思いに野草とふれあう時間を楽しんでください。これからは、野草の観察を楽しくしていただくことを目指しています。



花工師 野草勉強会
講師 ふいよ 岩野



平尾台自然観察センター
フィールドガイド(無料) 自然観察
講師 博 さん

平尾台の植物は、原生の植物と採種を好む植物に分けられ、その主たる採種は、11月1日の採種日に行われます。この時期、平尾台の代表的な野草といえる「シロバナツツミ」や「シロバナカンキョウ」なども、11月中旬以降の採種についてから、数週間前まで採種することができます。採種は、採種日当日の午前10時～午後5時、採種場(採種場)にて行われます。採種料は、採種料として100円(税別)を支払ってください。採種料は、採種日当日の午前10時～午後5時、採種場(採種場)にて行われます。採種料は、採種日当日の午前10時～午後5時、採種場(採種場)にて行われます。

野草勉強会の様子



アートフラワー講習会の作品の数々



シマカンギク

ウメバチソウ

リンゴ

花や草に関するご相談は
「花と緑の相談所グリーンパーク西」まで、

TEL 093(7)41-5587

Q.2

植物の種類により異なりますが、水が土が乾いてから、鉢底から水が出るまでやります。土が乾いていないのにやると、根がいつも水の中に浸かっている状態になり、空気が入り、根腐れを招いてしまいます。その為、水の吸収が出来なくなり、元気がなくなっていくわけです。空気が乾く時は、霧吹きで葉に水をかけ、冬の水溜りの回数を減らします。特に、サンセリビアは葉が苦手で、かわいそうだからと冬に水をやるのが葉が凍ったりして枯れてしまいます。10月頃から水を控えめにしてください。4月下旬頃から水溜りを再開します。

Q.1

部屋に観葉植物を置いています。水溜りは毎日欠かさず行っています。なぜでしょうか。

A.1

アイルビー、ペンシヤマン、コンソリダ、シンシウム、パキラをいかにがでしようか、どれも部屋の中や十分に楽しめます。大きなのが困る場合は、コンパクトに仕立てるとも可能です。垂れ下がりのを楽しくはアイルビーやシンシウム、立ち姿の美しいペンシヤマン、パキラ、細長い葉が魅力的なコンソリダです。蒸れるのはよくないが、風通しのよいところに置くようにしてください。

Q.1

マンションで観葉植物を育てたいと思いますが、育てやすいものはどのようなものがありますか。

花相談



今回のテーマは
観葉植物です。

第11回 北九州市

花

咲くまちづくり コンクール

入選結果

個人部門

最優秀賞

村上 幸代さん (小倉南区篠多園)

植物の特性を見極めた美質、色合いなど調和の取れた四季折々の花の演出、維持管理の姿勢がすばらしい。フリスのデザインにも配慮された玄関前の花は道行く人からも見え、地域の心の安らぎの場となつている。



山中 洋子さん (小倉南区下宮)

花壇を組み合わせて立体的に演出され、道路から花飾りを楽しめることが、道行く人へのアピール度が非常に高い。多くの花が飾られているが、背景や色合いのバランスが取り、花に対する愛情が感じられるつくりとなっている。

審査員特別賞

八尋 照和さん (八幡西区西本町)

ポリエーム感を出すために、フリスをうまく重ねてみる等、立体的に演出されている。インパクトのある空間となっている。マッシュルームにフリスをバラで覆わせ、緑が少なく中々面白い工夫が与える空間となっている。



審査員特別賞

柴田 道子さん (小倉南区東井)

真一面に四季咲四季咲のバラを揃えており、アーチやランタナなど、巧みに用いたポリエームのある演出をしている。継続的な維持管理は高く評価できる。バラの甘い香りが地域の人も楽しめる場となっている。



特別功労賞

中原 正さん (小倉南区丸瀬野)

花は、主に種から育てられており、育苗の技術が高い。誰でも自由に入手することができ、竹を使用したり自然に委ねた庭作りと多種多様な花木がバランスよく配置されている。また、アイデアを凝らした手作りの小物は、またおとぎ話の世界に入ったような気持ちにさせられる。



学校部門

優秀賞

北九州市立光貞小学校 (八幡西区光貞台)

校内での土作りや全校生徒の「入林」活動、たけのこはな動、地域の方も積極的に参加できるように花植えを計画し、呼びかけを行っている。また、花壇全体のデザインやバランスが考慮されており、立体的に演出されている点も高く評価できる。



優秀賞

北九州市立浅川小学校 (八幡西区浅川町)

生徒たちを中心に種から花苗を育てている。中庭の花壇やビオトープ池など、よく手入れされ、おり、美しい。学校外での生徒による花植えポランティア活動など、地域の方や保護者との交流の場へと繋がっており、意欲的な姿勢を高く評価したい。



優良賞

北九州市立楠橋小学校 (八幡西区楠橋上方)

中庭花壇の色合いが美しく、丈の高さも長く考えられている。生徒だけでなく、ボランティアによる維持管理の取り組み姿勢が積極的に美しい花壇が作られている。



新人賞

北九州市立青山小学校 (八幡西区青山)

正門から正面玄関へ続く大面積の花壇は、種から育てられた花でつばい、法例されている。また、維持管理も良くされている。今後生徒と共に花壇づくりに取り組むことを期待したい。



団体部門

優良賞

鞘ヶ谷市民センター
(戸畑区西鞘ヶ谷町)

アイビーを垂らしたり、ハート型バスケットを吊るったり、フットを並べたりと、道行く人の目も楽しませてくれる配置が嬉しい。観物と花をセンスよく使い、目をひく空間づくりをされている。校区のまわりづくり事業として始まったが、それが地域住民が和める場ともなっている。

新人賞

八幡西本町4丁目ばらの会
(八幡東区西本町)

道路沿いの三角地を、ふれあい花広場として利用しており、フェリスや花壇プラランタを使い様々な花を植えているのが見所で、また、地域での維持管理が出来ている点も評価したい。

新人賞

新道寺第一ふれあいの会
(J)石原駅周辺

J 石原駅近くの踏切切り横へ花を植えているため、道行く人だけではなく、電車に乗っている車内からも花を楽しむ事ができ、通勤・通学中に花を見えはつとむ気持ちにさせられる。維持管理もよく行き届いている。

審査員特別賞

ガーデンウィレッジ平尾台
(小倉南区呼野)

園地住民が丸となった園地の出入口や園地内公園の花壇えや手入れを行って、個々の家も賑わう、明るくオープンな雰囲気の中間道路から見える庭の緑や花壇を、楽しむ事が出来る。北九州市内では珍しい取り組みであり、道行く人も和ませられる住宅地として紹介したい。

新人賞

桜丘市民センター
(小倉北区上富町)

竹で作ったプランターを壁に取り付け、道行く人にも見えるように工夫されている。また、栽培技術も高く、プランターの花も美しく咲かせている。維持管理も良く、出来ており、今後の成長を期待したい。

特別功労賞

フラワーガーデン千代
(八幡西区千代)

何もなければ雑草が一面に茂るであろう場所に、色鮮やかな四季折々の花を植え、明るい雰囲気となっている。地域のボランティアを募り、種から花苗を育てるなど、維持管理はあらゆること、地域の人々の取り組みは高く評価できる。全長300m以上もの散歩道は道行く人の目を楽しませ、地域への多大なる潤いを与えている。

企業部門

優秀賞

門司港開発(株)
(門司区港町)

レトロ地区を訪れる観光客にはどする時間を過したくないという思いで、観光シーズンにあわせた季節感のある色鮮やかな花を植えている。広範囲ながらも維持管理が行き届いており、花もまた観光地における見所の一つとなっている。

優良賞

リバーウォーク北九州管理組合法人
(小倉北区豊町)

維持管理が難しい環境の中で、プランターは季節の花でセンスよく飾られており、周辺環境と調和している。お客様向けだけでなく、道行く人にも楽しめるよう、工夫されている。

市民人気投票結果発表

● 優良賞部門 上 代官(小倉東区多喜町) ● 審査員特別賞部門 上 代官(小倉東区多喜町)

● 優良賞部門 中 川小(八幡西区川小) ● 審査員特別賞部門 中 川小(八幡西区川小)

● 優良賞部門 下 八幡(門司区八幡) ● 審査員特別賞部門 下 八幡(門司区八幡)

● 優良賞部門 八幡(戸畑区八幡) ● 審査員特別賞部門 八幡(戸畑区八幡)

たくさんのご応募ありがとうございました。



花まちニュース

小倉南区野野(国道322号小倉駅交差点そば)



北九州に美しいまちなみとして全国的にも注目される住宅街があるのをご存知ですか？
場所は小倉南区。平尾台の麓にある新興住宅街「ガーデンウィレッジ平尾台」。こちららは平成15年に北九州都市景観賞を受賞。そして翌年の平成16年には国土交通省などが主催する都市景観大賞の特賞賞と国土交通省賞を受賞。美しいまちなみ賞のW受賞をはいちらな賞のW受賞です。

ガーデンウィレッジ平尾台 都市景観賞W受賞！



花まちリポーター
園田 静佳

クロスFM ニュース・アナウンサー
RKBラジオ リポーター

春に庭がある家に引っ越しました！あこがれの庭いじりができるとはわきまっていたら信じない現実にもびっくりしました。

実は虫が苦手です。これがまたどこからやってくるのと思うほどののです。虫の種類を言うともんなのは当たり前といわれますがこわいものはこわい。すぐに慣れるとも言われましたが、慣れるかなー。



21戸があまりる3建の3一タワン。
そのまちなみは「家と家、庭と庭の間に壁がない。門がない。車庫の屋根もない。街が緑で繋がって広々と見えます。公園や遊歩道その向こうにある平尾台の雄大な景色までが体となって街全体が大きな緑の公園のようなのです。
また住宅地の開発前にあっ

まちなみの魅力

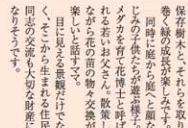


た桜の古木や藤棚など全部で約70本以上にある樹木と、住民の方々の協議で「保存樹木」として残しているの大きな特徴です。
各庭にも4〜5本の保存樹木があり、共有地にある保存樹木とともに住民の共有財産として大切にしよう」と管理組合をつくらせて保全活動とその環境づくりを心がけています。
「3建の団地では珍しい取り組みです。



花の景観へつくり

「月に一回、第2日曜日は朝9時からみんなで清掃をします。21世帯で子供が現在22人。小さい子どもがうきで歩く姿は可愛くてね」と目を細めるのは管理組合の初代副理事長、清口芳博さん。
昨年は花好きの有志が集まって「花植え愛好会」を結成。春と秋の年2回みんなで共有地の花を植えかえる時は、その前に花を抜いて土づくりや花の苗を工夫して増やすといったお世話をしてくれました。年長者による「自ねん会」のみなさんは「日常の中で自然と向き合う時間が少しずつ増えていきました。」



まちの財産

取材をさせていただいた日は33度を記録した猛暑でしたが、大きく枝をのばす保存樹木の木陰に入るととても涼しい。風に葉やその影がゆれて風が見えます。蝉の声が大きく響き、季節を感じて風景です。
5年、10年とかけ、緑の環境がどうなっていくのか。保存樹木と、それらを取り巻く緑の成長が楽しみです。同時に庭から庭へと顔なじみの子供たちが遊ぶ様子。メタカを育てた博士と呼ばれる若いお父さん。散策しながら花の苗の物々交換が楽しいと話すまで。
目に見える景観だけでなく、そこから生まれる住民同志の交流も大切な財産になりそうです。



ひまわりの巡り道

～ひまわりの里親～



北九州市では、この夏もひまわりを通してユニークな取り組みを行っています。

まず、福祉施設や市民センター、保育園、小学校など市内39ヶ所で開花間近まで育てます。次に、そのひまわりを小倉・黒崎の商店街などが里親として預かって飾るといふ運動で、今年で3年目を迎えます。今年は「グッドスマイル」という品種のひまわりで、開花日を合わせるため6月14日に一斉に播種をしました。今年は長雨で育てるのが大変でしたが、「北九州市保健福祉子ども総合センター」かなだ少年支援室(室長 田島 猛子)では、井上 猛先生と子ども達がプランターの下に台を作る工夫をしました。一段高くすることで水を良くし、周囲も風くほど頑固に育ちました。

一方、里親制の1人「旧長崎街道の京町三丁目目」にある床屋さん「メンズサロンみつおか」の光岡 宏さんは、「一生懸命育ててくれた花なんで、近所の7～8軒の商店と協力して大切に世話をします。うちはまだ枯れとらんよーなどと声を掛け合いながら、できるだけ長く花を楽しめるようにがんばってます」と話してくれました。

ひまわりが並ぶ通りを「ひまわりの巡り道」といいますが、その道は毎年夏に、北九州の街を元気に盛り上げています。



Topics

環境にもやさしい「エコ」を

このプランターは、トウモロコシや、からし菜などから生まれた「バイオプラスチック」で、60℃以下で使用せず、CO2が吸収できません。なんと再利用も可能です！



花に関する

おでかけインフォメーション

平尾台自然の郷

<http://www.hirodai.jp/venue/>

平尾台カスト文化祭「カール節」

日時/9月10日の毎週木曜 9:00～17:00

場所/平尾台自然の郷

内容/平尾台の先生方の作品展やステージイベントなど。家族で楽しめるイベントが盛りだくさん！

料金/無料

【お問い合わせ先】小倉南区平尾台一丁目1番1号

平尾台自然の郷 TEL:093-452-2715

※火曜休園(祝日の場合は翌日)

白野江植物公園

<http://www.shirinoe.com/>

秋の七草祭り

日時/9月16日(土)～9月24日(日) 9:00～17:00

場所/園内一円

内容/秋の七草が見頃を迎え、秋の七草茶の無料サービスや、白野江公園市など開催。

料金/無料(別途、入園料必要)

★無料入園日/9月18日(月・祝)9:30～17:00

中瀬洋一写真展

日時/11月3日(金・祝)～12月3日(日)

場所/官庁事務所内休廊

内容/白野江の四季折々の風景の写真展。

料金/無料(別途、入園料必要)

紅葉まつり

日時/11月9日(水)～11月26日(日) 9:00～17:00

場所/園内一円

内容/花・樹木市、お茶会など開催。

料金/無料(別途、入園料必要)

【お問い合わせ先】門司区白野江2丁目

白野江植物公園管理事務所 TEL:093-341-8111

※火曜休園(祝日の場合は翌日)

平尾台自然観察センター

<http://www.hirodai.jp/hiro/>

アートフラワー講座(定員各日10名)

日時/10月20日(金)・11月17日(金)・12月15日(金)

10:00～16:00

場所/センター研修室

内容/平尾台の野草を針金や布でそっくりに作る。

料金/材料費のみ(2,000円程度)

持参品/剪金、飲料水、はさみ、タコリ

秋の野草観察会(定員20名)

日時/10月29日(日) 9:30～15:00

場所/平尾台周辺(センター内研修室集合)

内容/秋の野草を観察しながらハイキング。

料金/無料

申込/10月13日(金)締切

【お問い合わせ先】小倉南区平尾台一丁目4番40号

平尾台自然観察センター TEL:093-453-3737

※月曜休園(祝日の場合は翌日)

グリーンパーク

<http://www.kprmf.jp/green/>

第30回北九州市都市緑化祭

日時/10月15日(日)

場所/園内一円

内容/蒸玉作り(予約可50名)や、キャラクタショー、フリーマーケットなど様々な催し物を用意。

料金/当日はグリーンパーク入園料、熱帯生体園入園料、カンガルー入園料が無料

【お問い合わせ先】若松区大字竹笠1006番地

グリーンパーク(管理地管理事務所) TEL:093-741-5545

※火曜休園(祝日の場合は翌日)

山田緑地

<http://www.kprmf.jp/yamada/>

定期自然観察会

日時/9月24日(日)・10月22日(日) 9:30～12:00

場所/山田緑地

内容/山田緑地ボランティア主催。植物や野草・昆虫などの自然観察を親子参加にもわけて、園内を散策します。お気楽にご参加下さい。

料金/無料(別途、入園料必要)

申込/当日 15:00売店カウンター前に希望者全員参加

草笛コンサート

日時/10月1日(日) 14:00～15:00

場所/森の自然観察室

内容/身近にある草や木の葉っぱを使って、草笛や草歌、フォーンジグなどいろいろなジャンルのお曲を演奏する。

料金/無料(別途、入園料必要)

【お問い合わせ先】小倉区山田町

山田緑地管理事務所 TEL:093-582-4870

※火曜休園(祝日の場合は翌日)

《お詫びと訂正》

花新聞第22号掲載の記事「戸畑あやめ」において、事実と異なる記述がありましたので、読者並びに関係者の方々にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。次のように訂正いたします。

【誤】大陸系依存植物

【正】大陸系過存植物

【誤】学名がない

【正】現在ある品種のどれに当てはまるか調査のため、学名が確定していません

《お便り待ってます》

花新聞では、皆様からのお便りをお待ちしています。ご自宅で育てている花のこと、北九州市内のお気に入りの花のスポットなど、花に関することなら何でも結構です。写真同封も大歓迎。お便りの部は、花新聞紙上で紹介させていただきます。

あて先/〒808-8501 小倉北区内城内1-1

公園緑地緑化課花とみどり係

TEL:093-5582-2466

FAX:093-5582-0166